

## 進路指導室から 第322号

### はじめに

新年度を迎えました。新型コロナウイルス感染症の収束の兆しはまだ見えませんが、はやく落ち着きを取り戻し、今年度こそは本来の教育活動が行われることを願っています。

さて、今年度は進路指導部のメンバーが大きく変わります。特に、新しく採用された若い先生方3名が加わります。是非、進路指導部の業務を通じてこれからの広島の教育の中心となるべくしっかりと頑張りたいと思っています。

### 「令和7年度大学入学共通テストからの出題教科・科目（案）」について

大学入試センターは24日（水）に、2025年以降の大学入学共通テストの出題教科・科目を発表しました。「情報」を新たに加える一方、科目数を絞り、現行の6教科30科目を7教科21科目に再編します。

現行の教科の中で大きく編成が変わるのは「地理歴史科」と「公民科」です。現在6科目に分かれている「地理歴史」は、学習指導要領で新設される必修科目の「歴史総合」「地理総合」と探究系の選択科目を組み合わせ、3つに集約します。「公民」は新必修科目「公共」を軸に2科目に再編します。「地理歴史科」と「公民科」を横断する形で新必修3科目を組み合わせ、うち2つを選択して解答する「地理総合、歴史総合、公共」も新設します。

〔令和7年度大学入学共通テストからの出題教科・科目（案）〕

現行の共通テスト	教科	2025年 共通テストの案
科目 「国語」	国語	「国語」
「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」	地理歴史	「地理総合、地理研究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」
「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」	公民	「地理総合、歴史総合、公共」 「公共、倫理」 「公共、政治・経済」
「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」	数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」
「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」「情報関連基礎」		「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」
「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」 「生物」「地学」	理科	「物理基礎」「化学基礎、 「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」 「生物」「地学」
「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」
新設 ⇒	情報	「情報」

なお、英語4技能の評価や記述式問題などは別途議論が進められています。今後は、文部科学省で高校や大学などが協議し、今年の夏には実施方針や出題教科・科目を決定する予定です。

### 「全校集会での講話」について

4月6日（火）に行われた前期始業式後の全校集会での講話の中で、以下のような話をさせていただきました。

今年度最初の講話になります。7回目の年度当初の講話になります。一昨年までは講堂で行われていましたが、多くの生徒の前に話すのは非常に緊張しますがその反面、皆さんの反応が伝わってきました。しかし、モニターの前では皆さんの反応がよくわかりません。多くの人の前で話すこと自体は好きではありませんが、やはり皆さんの反応が伝わってくる講堂での講話の方が何となくしっくりくるように思います。

さて、南棟の南側の教室から広島城周辺の光景を目にすることができます。そして、季節の移り変わりとともにその様相も変化します。この季節はやはり桜の花が気になります。

桜は古くから日本人に愛され続けた花です。鎌倉時代までの代表的な歌を集めた小倉百人一首にも、紀友則の「ひさかたの 光のどけき 春の日に 静心なく 花の散るらむ」や小野小町の「花の色は 移りにけりな いたずらに わが身世にふる ながめせしまに」などいくつかの歌が収められています。

今年は3月の下旬に満開の時期を迎えました。毎年、進路指導室の窓に広がる広島城の満開の桜を見ながら、新しい年度の始まりを実感しています。

さて、3月に卒業生進路講演会を行いました。7人の先輩たちのアドバイスから実践してみようと考えたことはありましたか。「進路指導室を積極的に活用すること」、「信頼できる人を見つけること」「地道に努力すること」、「素直にアドバイスを受け入れること」などの大切さについて話をしてくれましたが、その中でも京都大学工学に進学する先輩の話は大変示唆に富む内容でした。果たしてその内容は、「楽しい学びを」でした。

私は、受験勉強が好きではありませんでした。受験のシステム上、いくら自己研鑽しても、競争相手に勝たなければ合格を得ることができません。それは学問の本当の姿ではないような気がするからです。

どうか興味を常にもちながら、好奇心を絶やさないように学んでほしいです。3年生の秋ごろ、授業が一通り終わると、演習に進みます。新しいことを学ぶ機会は減り、いかに正確にはやく解くか、時間と勝負しながら、ある意味ストレスフルな勉強をするようになります。私は、3年生の秋が、受験勉強で最もつらい時期だったように思います。自分に自信をもてず、本当は好きな「学ぶ」ということが、嫌いになりそうになってしまったからです。

ちょうどそのころ、私は京都大学のパンフレットで「自主ゼミ」という言葉を見つけました。「自主ゼミ」とは、仲間と自主的に行うゼミナール形式の勉強会のことです。私は、さっそく仲間を募り、週に1回の「自主ゼミ」をこっそりスタートさせました。高校の範囲で少し難解なもの、おもしろいと感じるものを予習して、仲間に講義形式でレクチャーするという取組です。毎週金曜日の放課後、「金曜講義ショー」という名前で好きなテーマを講義、議論しました。

高校生だけのゼミですから、少々論理が危うい内容、勇み足な内容もあったかもしれません。ただ、講義中はもちろん、準備する時間、仲間の反応や質問を受ける時間は想像以上に、純粋に楽しいもので、一時的に忘れていた知的興奮を蘇らせてくれました。仲間に教えるつもりで勉強することで、深い学習ができました。私が将来、化学系を専攻したいと改めて実感したのも、この瞬間です。

やはり、「学び」は楽しい活動です。一緒になって活動できる仲間がたくさんいること、これは基高生の特権です。是非、仲間との学び合いや勉強のおもしろさを忘れないように、受験期を迎えてください。

本当に素晴らしい内容でした。学校生活の基本は勉強することです。皆さんにも「楽しい学び」を心掛けてもらいたいと思っています。

さて、桜の木には、たくさんの花がついています。けれども、すべてが一斉に花をつけるわけではありません。この時、一番最初に開いた花は、最後の蕾が開くまで散らないそうです。風で散ってしまうことがあっても、自ら散ることはなくすべてが花をつけるまで、じっと待っているそうです。

桜の花びらや枝、一部を見てはわかりませんが、木全体を見ると、先に咲いた花は散らないようにがんばり、まだ咲いていない蕾は1日も早く咲こうと頑張っており、その結果、1本の満開の桜が出来上がります。

本校の校歌の歌詞の中に、「ああわれら 睦はげまん」の歌詞がありますが、皆さんも仲間たちと助け合って、みんなで高校生活を意義あるものにしてください。私は微力ながら皆さんの進路実現のために力を尽くしていきたいと思っています。

最後に各学年の皆さんへのメッセージです。

まずは2年生。皆さんが今、考えている進路希望が本当に皆さんを生かし、そして幸福につながるものであるかどうかしっかりと考え、進路希望を確かなものにしてください。生き方を決めるのは皆さん自身です。

続いて3年生。いよいよ今年度は受験に臨みます。大学入学共通テストまであと284日です。決して思うようにはいかないこともあるかと思いますが、改めて覚悟をもって受験勉強に取り組んでください。

これから令和3年度が始まりますが、この1年間が皆さんにとって実りのある時間であることを願っています。これで私の話は終わりです。

## 終わりに

先日、本校59回生卒業生の高橋惇君と話すことができました。高橋君は神戸大学発達科学部（現国際人間科学部）を卒業した後、いろいろと思うところがあり、自転車で日本一周を2回なしてあげています。2017年には旅の経験から学んだことの集大成として兵庫県神戸市に体験型学習塾「イドミィ！」を開校し、現在に至っています。3月25日（木）には、彼自身2冊目となる『一歩ふみだす勇気』が上梓されています。若い人たちの頑張りは素晴らしいものです。

（文責：進路指導部 池本 邦彦）